SOMPO JAPAN FOUNDATION NEWS　２００２－２号

平成１４年７月

損保ジャパン記念財団 News

●発行者：財団法人損保ジャパン記念財団 〒102-0073 東京都千代田区九段北４－２－１

TEL03-3222-3622 FAX03-3222-3634 http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/ Eﾒｰﾙ:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

－財団名称の変更－

出捐会社の安田火災と日産火災が統合し、本年７月１日より株式会社損害保険ジャパン（通称：損保ジャパン）として新たにスタートしました。これに伴い安田火災記念財団は、「損保ジャパン記念財団」と名称変更し、これを機に損保ジャパングループとしての社会貢献の一翼を担うべく、職員一同努力してまいる所存ですので引き続きのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。（損保ジャパン記念財団の概要はリーフレットをご参照ください。）

福祉系NPO法人設立資金助成申込受付中

本年度で４回目を迎える[ＮＰＯ法人設立資金助成]の申込みを現在受け付けています。

これまで全国約７,０００の団体がＮＰＯ法人格を取得し、各方面で活躍しています。当財団では、福祉活動を行う多くの団体がＮＰＯ法人格を取得し、組織を強化しつつ社会的な信用を高め、活発な活動を実践することで我が国の地域福祉に向上に大きく貢献してもらうことを期待し、当該助成事業を平成１１年度より行っています。

応募要領は下記のとおりですので、皆様の周りにこのような法人格取得を目指す団体があれば情報提供をお願いします。なお、公募に関するポスターを社内に配布していますのであわせて活用してください。

＜ 応 募 要 領 ＞

１．助成対象者	社会福祉の分野でＮＰＯ法人の設立を計画している団体 ただし、平成１４年度中に設立認証申請を行うことを原則とする （所轄庁受付日が、平成１４年４月１日から 平成１５年３月３１日までのもの）
２．活動内容	障害者・高齢者の主として在宅福祉に関する活動
３．助成金額	１団体３０万円（総額３,０００万円）
４．資金使途	法人設立に関する費用であれば使途は問わない
５．申込方法	・助成申込書を当財団事務局にファックスで請求する ・平成１４年７月１日（月）～平成１４年７月３１日（水） 間での間に郵送で当財団に提出する（当日の消印有効）
６．選考方法	９月開催予定の選考委員会で選考し、１０月上旬助成予定

平成14年度第1回理事会を開催



６月２１日開催の平成１４年度第１回理事会において、平成１３年度の事業報告と収支決算が原案どおり承認可決されました。

平成１３年度の当期収入額は寄付収入を中心に約 1.15 億円、一方当期支出額は 1.11 億円（助成金支出等の事業支出は 7,450 万円、財団管理費は 2,640 万円）となり、計画した事業は予定どおり実施されています。　また、当財団の特徴である助成事業以外の市民活動に対する各種支援事業や福祉諸科学分野における出版事業、我が国唯一の社会福祉文献表彰事業は外部関係者から高く評価され、東京都社会福祉協議会から特別表彰を受けるなど企業イメージの向上にに貢献してまいりました。なお、財団設立以来の助成金等の事業費総額は約１５億円となっています。

７月１日付けの当財団役員等の人事に関しましては、５年間つとめられた望月純監事の後任として、山口裕之監事（損保ジャパン経理部長）が選任され、また石上雅人評議員の後任として、西川茂樹評議員（損保ジャパン取締役常務執行役員）が選任されました。
選考委員では、松岡星郎委員の後任として瀬尾隆史委員（損保ジャパン環境・社会貢献部長）が、高宮洋一委員の後任として桜田謙悟委員（損保ジャパン経営企画部長）が選任されています。

貸借対照表

（平成14年3月31日現在）

（単位:円）

科　目	金　額		
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,119,339		
有価証券	83,367,971		
仮払金	17,260		
流動資産合計		85,504,570	
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	899,159,600		
普通預金	840,400		
基本財産合計	900,000,000		
その他固定資産			
什器備品	519,866		
退職給与引当預金	220,000		
その他固定資産合計	739,866		
固定資産合計		900,739,866	
資産合計			986,244,436
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,099,452		
預り金	120,820		
流動負債合計		5,220,272	
2. 固定負債			
退職給与引当金	220,000		
固定負債合計		220,000	
負債合計			5,440,272
Ⅲ. 正味財産の部			
正味財産			980,804,164
（うち基本金）			(900,000,000)
（うち当期正味財産増加額）			(14,694,082)
負債及び正味財産合計			986,244,436

平成１３年度末における当財団の正味財産は、前年度末から約 1,400 万円増加し、基本財産９億円を合わせ、総額９億 8,000 万円となっています。

財団設立の背景と概要

損保ジャパン記念財団は、１９７７年 (昭和５２年) １０月に厚生大臣の許可を受けて設立されました。

設立時の趣旨書によると、「損保ジャパン (当時・安田火災) は社会保障を補完する福祉産業としての損害保険という重大な使命の担い手としての自覚に立ち、損害保険を通じて社会に大きく寄与することに努力を重ね、国民大衆に密着した路線を着実に前進する」中で、「さらに大きく社会への貢献を果たすには、従来から行っている社会福祉活動の充実と福祉諸科学に対する学術研究の推進を別組織で実施することが望ましい」として当財団を設立しております。

寄附行為には「当財団は、わが国の福祉及び文化の向上に資する」ことを目的とし、その目的を達成するための事業として「社会福祉に関する事業活動に対する助成」「社会福祉・社会保険・損害保険等の学術研究・文化活動に対する助成」「優秀な社会福祉学術文献を表彰する事業」等を行うと謳っております。

設立以来、それぞれの時代における社会福祉・社会保険・損害保険等のニーズに応えるべく、社会福祉の最前線で活躍される団体等への助成事業を行うと同時に学術的側面から社会福祉の発展に寄与する目的をもって文献表彰を含む学術研究助成を行い、「社会福祉の実践」と「社会福祉の学術研究」の両側面、及び「福祉諸科学の学術研究・助成」の事業を展開しております。

損保ジャパン記念財団の概要

設立	昭和５２年１０月
主務官庁	厚生労働省
基本財産	９億円 (平成１４年3月末現在)
累計事業費額	約１５億円

役員・評議員・顧問

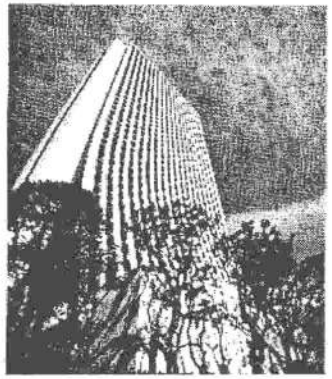
理事長	有吉　孝一	(損害保険ジャパン顧問)
専務理事	田中　皓	(損害保険ジャパン (専任))
理　事	鴻　常夫	(東京大学名誉教授)
	金田　一郎	(日本社会福祉弘済会理事長・元社会保険庁長官)
	後藤　康男	(損害保険ジャパン特別顧問)
	戸澤　政方	(元衆議院議員・元厚生事務次官)
	西嶋　梅治	(法政大学名誉教授)
	森嶌　昭夫	(地球環境戦略研究機関理事長)
	和田　正江	(主婦連合会会長)
監　事	斎藤　昭一	(新日本監査法人代表社員)
	山口　裕之	(損害保険ジャパン経理部長)
評議員	石井　壽人	(日本地震再保険元常務取締役)
	石田　満	(上智大学名誉教授)
	江頭憲治郎	(東京大学教授)
	大島　雄次	(安田生命代表取締役会長)
	大橋　宗夫	(損保ジャパン総合研究所顧問)
	落合　誠一	(東京大学教授)
	金澤　理	(創価大学教授)
	上村　一	(恩賜財団母子愛育会会長)
	川井　健	(元一橋大学学長)
	木南　隆彦	(みずほアセット信託銀行元顧問)
	倉澤康一郎	(武蔵工業大学教授)
	笹本　国彦	(ロイズジャパン前代表取締役)
	杉崎　盛一郎	(安田健康保険組合顧問)
	鈴木　治雄	(昭和電工最高顧問)
	並河　尚典	(サンビルメンテナンス元社長)
	西川　茂樹	(損害保険ジャパン取締役常務執行役員)
	西崎　哲郎	(ＫＰＭＧフィナンシャル理事長)
	庭田　範秋	(慶応大学名誉教授)
	端田　泰三	(みずほフィナンシャルグループ名誉顧問)
	福井　光壽	(東京都医師会前会長)
	三浦　文夫	(日本地域福祉学会顧問・前会長)
	三好　次夫	(ユニバース開発代表取締役社長)

財団法人　損保ジャパン記念財団
〒１０２－００７３
東京都千代田区九段北４丁目２－１
大成火災本店ビル４階
電話　０３－３２２２－３６２２
Fax　０３－３２２２－３６３４
Email　fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp
URL　http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/

SOMPO JAPAN FOUNDATION

財団法人 損保ジャパン記念財団

Sompo Japan Foundation



2002. 7

【事　業　内　容】

損保ジャパン記念財団の詳細はホームページをご参照ください。

1．社会福祉事業

●ＮＰＯ法人設立資金助成（公募）

障害者・高齢者の福祉活動団体で、当年度中にＮＰＯ法人の設立認証申請を行なう全国の団体を対象に、設立資金として１件あたり３０万円を助成しています。



●自動車購入費助成（公募）

ＮＰＯ法人等の法人や法人化をめざす福祉団体を中心に１件あたり１００万円の助成をしています。



●会議会合・国際交流費助成

主として、障害者福祉活動団体の各種会合の協賛費、国際交流費を助成しています。



2．福祉諸科学事業

●研究助成

社会福祉・社会保険・損害保険に関するテーマの研究に対し助成しています。

●研究会

株式会社損保ジャパン総合研究所と連携し、現在は下記の研究会を運営しています。

①米国保険法研究会
②消費者契約法と規制緩和研究会
③金融・保険分野の競争政策研究会
④欧州ヘルスケアビジネス及びディジーズマネジメント研究会
⑤ケアリスクマネジメント研究会



●講演会

時宜に適したテーマを選択し、随時開催しています。

●財団叢書

研究会の研究結果、講演会講演録等を編集しこれまで７０冊の叢書を発刊しています。

3．社会福祉文献表彰事業

損保ジャパン記念財団賞

後援　日本社会福祉学会
　　日本地域福祉学会

社会福祉の分野における優れた学術文献を表彰しています。社会福祉の学問的探求を指向する多くの学者、研究者の研究意欲を促進し、ひいてはわが国の社会福祉の発展に寄与することを目的としています。



選考委員・審査委員

●社会福祉事業

委員長　板山　賢治（浴風会理事長）
委　員　大久保英明（損害保険ジャパン労組執行委員長）
　　瀬尾　隆史（損害保険ジャパン環境・社会貢献部部長）
　　竹中　浩治（ヒューマンサイエンス振興財団理事長）
　　松尾　武昌（全国社会福祉協議会常務理事）
　　山崎美貴子（明治学院大学教授）

●福祉諸科学事業

委員長　京極　高宣（日本社会事業大学学長）
委　員　川俣　勝也（損保ジャパン総合研究所常務取締役）
　　桜田　謙悟（損害保険ジャパン経営企画部長）
　　高橋　紘士（立教大学教授）
　　広井　良典（千葉大学助教授）
　　山下　友信（東京大学教授）

●社会福祉文献表彰事業（安田火災記念財団賞）

委員長　三浦　文夫（日本地域福祉学会顧問・前会長）
委　員　大橋　謙策（日本社会福祉学会・日本地域福祉学会会長）
　　大橋　宗夫（損保ジャパン総合研究所顧問）
　　岡本　民夫（同志社大学教授）
　　竹内　孝仁（日本医科大教授）
　　古川　孝順（東洋大学社会学部長）

平成13年度収支計算書

（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）

（単位：円）

科目			13年度予算額	13年度決算額	差額	備考
大科目	中科目	小科目				
Ⅰ．収入の部						
1．基本財産運用収入			13,000,000	13,539,366	△ 539,366	
2．寄付金収入			100,000,000	102,230,000	△ 2,230,000	寄付金の増加
3．雑収入	受取利息		100,000	112,013	△ 12,013	
4．基本財産収入			0	0	0	
当期収入合計(A)			113,100,000	115,881,379	△ 2,781,379	
前期繰越収支差額			75,426,478	75,426,478	0	
収入合計(B)			188,526,478	191,307,857	△ 2,781,379	
Ⅱ．支出の部						
1．事業費	社会福祉事業	助成金	45,000,000	43,300,000	1,700,000	緊急対策助成無
		諸費用	3,000,000	2,875,366	124,634	
	(小計)		48,000,000	46,175,366	1,824,634	
	福祉諸科学事業費	助成金	2,000,000	2,000,000	0	
		諸謝金	7,000,000	8,354,784	△ 1,354,784	(注)
		刊行物関係	6,000,000	6,261,280	△ 261,280	
		諸費用	5,000,000	4,354,983	645,017	
	(小計)		20,000,000	20,971,047	△ 971,047	
	文献表彰事業費		8,000,000	7,364,253	635,747	
	(小計)		8,000,000	7,364,253	635,747	
(事業費計)			76,000,000	74,510,666	1,489,334	
2．管理費	人件費	給与等	18,000,000	18,942,877	△ 942,877	下半期スタッフ増員
	物件費	会合費	2,000,000	1,595,107	404,893	
		旅費交通費	200,000	132,020	67,980	
		通信費	500,000	428,233	71,767	
		消耗品費	300,000	267,262	32,738	
		図書費	200,000	230,221	△ 30,221	
		備品費	300,000	146,790	153,210	
		資産管理費	600,000	674,616	△ 74,616	
		印刷製本費	200,000	279,181	△ 79,181	
		光熱費	200,000	196,360	3,640	
		賃借料	500,000	479,346	20,654	
		調査費	100,000	135,765	△ 35,765	
		業務委託費	300,000	334,990	△ 34,990	
		諸会費	500,000	505,812	△ 5,812	
		雑費	2,300,000	2,094,313	205,687	
	(小計)		8,200,000	7,500,016	699,984	
(管理費計)			26,200,000	26,442,893	△ 242,893	
3．基本財産支出	投資有価証券購入		10,000,000	0	10,000,000	基本財産積増し減
	普通預金設定		0	10,000,000	△ 10,000,000	
4．その他固定資産支出	什器備品購入		0	0	0	
	退職給与引当預金		70,000	70,000	0	
5．予備費			10,000,000	0	10,000,000	予備費支出無
当期支出合計(C)			122,270,000	111,023,559	11,246,441	
当期収支差額(A－C)			△ 9,170,000	4,857,820	△ 14,027,820	
次期繰越収支差額(B－C)			66,256,478	80,284,298	△ 14,027,820	

(注)米国への調査出張予定がテロ事件により中止となり、調査を GREGG L.MAYER&COMPANYに委託したため費用が増加した。

社会福祉助成[会議会合・国際交流費] 助成先決定

４月２６日開催の社会福祉選考委員会において、３件の会議会合・国際交流費助成案件が承認されました。

１．全国失語症友の会連合会東京支部

助成内容：　「第２０回全国失語症者のつどい東京大会」の開催費用

助成内容：　１００万円

２．社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会

助成内容：　「アジア太平洋地域視覚障害者生活実態調査の実施」に対する会議費および旅費

助成内容：　１００万円

３．新・障害者の十年推進会議

助成内容：　国連の障害者キャンペーンとして実施されている「アジア太平洋障害者の十年」運動は最終年にあたり、１０月には札幌・大阪において国際フォーラムが開催される。このフォーラムにおいて発表される１０年間の行動計画である「１０７項目の目標」に対する評価および提言を取りまとめる諸会議・会合に対する助成

助成内容：　１６０万円

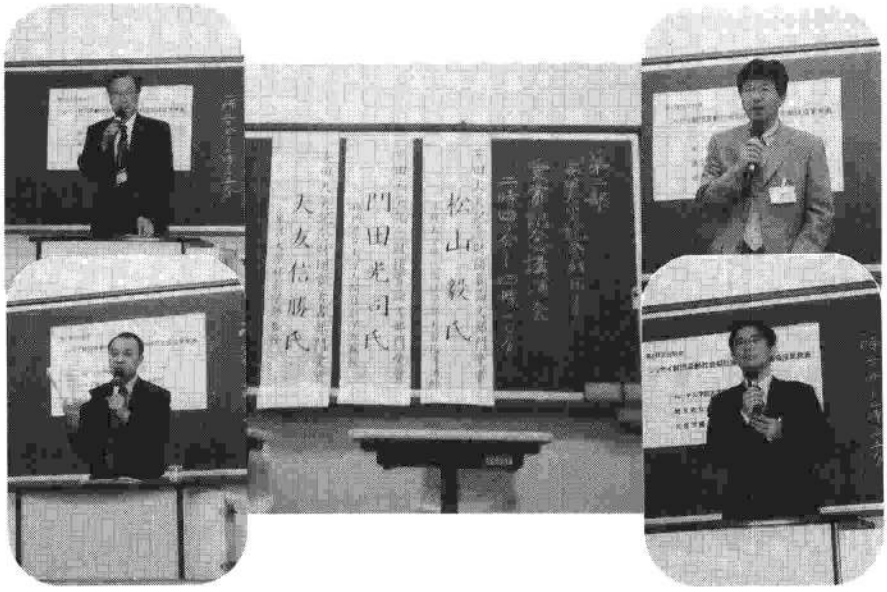
「安田火災記念財団賞」記念講演会を開催

社会福祉学術文献を表彰する、わが国唯一の制度である「安田火災記念財団賞」の受賞者による第３回（平成１３年度）安田火災記念財団賞受賞者記念講演会を、６月１５日（土曜日）西東京市所在の武蔵野女子大学で開催しました。

今年の講演会は初めての試みとして、「日本地域福祉学会第１６回大会」(注)のプログラムに、特別分科会という位置づけで開催し、この分野を研究する学者や学生を中心に熱心な聴講がなされました。

（注）日本地域福祉学会とは、地域福祉に関する研究と実践を行う方々が会員となっており、主に学者・社会福祉協議会の担当者・福祉施設の代表者・医者などが該当し、会員数は約 1,600 名にのぼります。

この賞も本年度は４年目を迎え、わが国の社会福祉学会の二大学会である「日本社会福祉学会」および「日本地域福祉学会」からの後援を得て、社会福祉学を研究する方々にとってますます魅力ある賞となってきています。



開会の挨拶：
三浦審査委員長

論文部門受賞者：
門田 光司　氏

著書部門受賞者：
大友 信勝 氏

論文部門受賞者：
松山 毅　氏

寄付金の御礼

● 次の方々から寄付をいただきました。ありがとうございました。

（平成１４年４月２３日～６月２０日まで。　寄付日順　）

安田火災ホットラインサービス株式会社　様、安田火災海上保険株式会社 様、